

公開シンポジウム

南九州の森、火山、ヒト

火山が作り出した大地と 南九州を彩る森・ヒトの関係史

2023年12月2日 土

事前申込不要
参加無料

主催 日本植生史学会・日本花粉学会
共催 日本第四紀学会

会場 鹿児島大学稲盛会館 キミ&ケサ
メモリアルホール

時間 13:00 ~ 17:00 (受付開始 12:40 ~)

公開シンポジウム講演内容

※会場には駐車場はありません。公共交通機関でお越しください。

オーガナイザー：吉田明弘（鹿児島大学）

鈴木英治（鹿児島大学）「南九州における現在の植生と植物の分布」

三宅 尚（高知大学）「寒冷な時代にはどんな森があった？ - 最終氷期最盛期頃の植生分布 -」

林 尚輝（大阪公立大学）「南九州における植物珪酸体分析からみた完新世初期の照葉樹林の発達」

能城修一（明治大学）「縄文時代後半から弥生時代の南九州における森林資源の管理と利用」

桑畑光博（九州大学）「南九州における縄文時代前半期の集落動態 - 火山噴火・気候変動と絡めて -」

第38回日本植生史学会大会・日本花粉学会第64回大会合同大会

12月2日（土）	9:00 ~ 12:00	一般研究発表（口頭）
12月3日（日）	9:00 ~ 10:15	一般研究発表（ポスター）
	10:15 ~ 10:45	日本植生史学会論文賞記念講演
	12:30 ~ 17:00	一般研究発表（口頭）

※公開シンポジウム以外のプログラムには参加費が必要です。

詳しくはコチラ▼



シンポジウム・大会
公式サイト

<https://hisbot2023.main.jp/>